

# 1年生学年だよ

メリハリ つながり チャレンジ

令和6(2024)年1月25日 第58号  
吹田市立第二中学校第一学年

## 福祉学習 はじまる

ここまでの9か月間の総合学習で本当にたくさんのことを学んできた79期生。そして3学期、新たな総合学習として福祉学習がはじまりました。福祉とは「**だれもが自分らしい生活ができ、幸せに暮らすこと**」。これまで学んできたたくさんのことがある79期生だからこそ、少し難しい課題とも思える「**特権**」をテーマに学習を進めていきます。

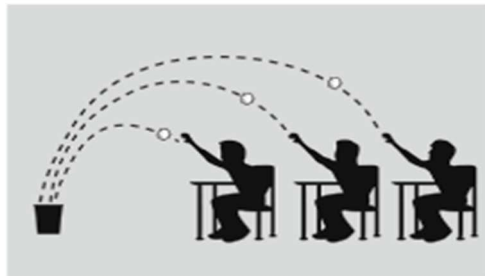


このイラストのような場面に出くわしたら、どうする？あるクラスではそんな問いから授業がはじまりました。

「車いすを使っているこの人が悪い」そう考える人はたぶんいないよね。「大丈夫ですか」と声をかけたり、**助けてあげると考えたりする人が多い**と思います。(もちろん小さなころの黒柳徹子さんのように勇気が出ないこともあると思うけど)

それはとても大切なことです。**さまざまな学びを深めてきたみんなはそんな考え方ができる。きっと行動もできる。**

だからこそ、今回はさらに一歩踏み込んだ学びができるよう、「**特権**」をテーマにしていきます。



教室で丸めた紙をゴミ箱めがけて投げてもらいました。普段は許されないようなことですから、楽しかったのではないのでしょうか。

前にいた人はきっと楽に投げ入れることが出来たと思います。後ろにいた人は不公平感を感じたことでしょうか。やる気をなくした人もいたかもしれません。

これは**マジョリティ特権**というものに気づくアクティビティでした。偶然座った席によって目的への難易度が変わってしまう。しかも**特権がある人(今回でいうと前に座っている人)ほど、後ろで苦しんでいる人たちのことに気がつきにくい**。後ろからは不公平感がよく見えるのよね。

このようにマジョリティ側(多数派)、優位な方は**自動ドアを開けるように何もせずに進んでいけるため、そこに障壁があることには気がつきにくい**のですが、実は自分が何も考えずに進んでいる横で**自動では開かないドアを必死に開けるように壁にぶつかっている人がいるかもしれない**のです。

今回、福祉学習では主に障害について学んでいきますが、知識を身につけることや、自分の行動を見つめるだけに終わることなく、**社会の抱える問題や「特権」を考えてほしい**と思います。

## 特権とは

**あるマジョリティ側の社会集団に属していることで、  
労なくして得ることのできる優位性。**



段があり登れないところを助けるけど、その段を無くすというところが大事で「誰もが」幸せに暮らせるような世界が大切ということが分かった。

・協力して助ける。とかも大事だけど、そもそもなんで困ってる人ができるような環境ができていくのかという問題に目を向けるのが変えていくPointだと学びました。なので暮らしの中で困ることをさがしていきます!!

困っている人を助けるのは考えたことがあったけど、それを超えています。困る人を少なくする、なくすというのは考えたことがなかったから、それをぶたん考える。

今のまじはなにも気づけないう事がたくさんあるから違う視点になって物事を見てみたい。そうすると世界がまったく別の物になると思う。

今日の感想

苦しんでいる人々が変わるんじゃなくて、優位の人たちがこの事を知って苦しんでいる人たちもみんなが幸せになる世界を少しずつつくりたいと思う

今日の感想

私は無自覚に、特権を持っていることに気がついて、すじでも支えにいたいと思った。無自覚だからいいなとかかたがたとかかたがたけど、無自覚っていいから不自由なことがあつからして普通か、いいことかした。